

# PLUS Furniture Company



床材の役割・種類・選び方

## オフィスの印象を変える床材

# 目次・はじめに

P2

はじめに

P3

オフィスを構成する要素

P4-5

オフィスにおける  
床材の4つの役割

P6-7

オフィスで使われる  
主な床材の種類

P8-11

<エリア別> 床材の選び方

P12

床材選びの注意点

P13

さいごに

オフィスの移転やリニューアルといった機会に、それまでの雰囲気から大きく変える一つの手段として、床の張り替えがあります。

従来、オフィスの床といえば、グレー系統の地味で目立たないタイルカーペットといったイメージがあったかもしれません。

しかし、現在ではオフィスでも様々な色・素材の床を採用している企業が増えています。

本資料ではオフィスの床に注目し、床材の役割・種類・オフィスのエリア別の選び方や張り替え時の注意点についてまとめました。

# オフィスを構成する要素

ウォーターサーバー等  
福利厚生設備

収納庫・ロッカー等  
収納

観葉植物等  
装飾

椅子・机等  
什器

オフィスは様々な要素で構成されますが、意外と印象に大きな影響を与えるのが **床材**

# オフィスにおける床材の4つの役割

## ① オフィスを訪れる人に与える印象が変わる

床はオフィスの印象を決める重要な要素です。そのため、床材によってオフィスを訪れる人が受ける印象が変わる可能性があります。特に、色は人が受ける印象に大きく影響するといわれています。

### たとえば…

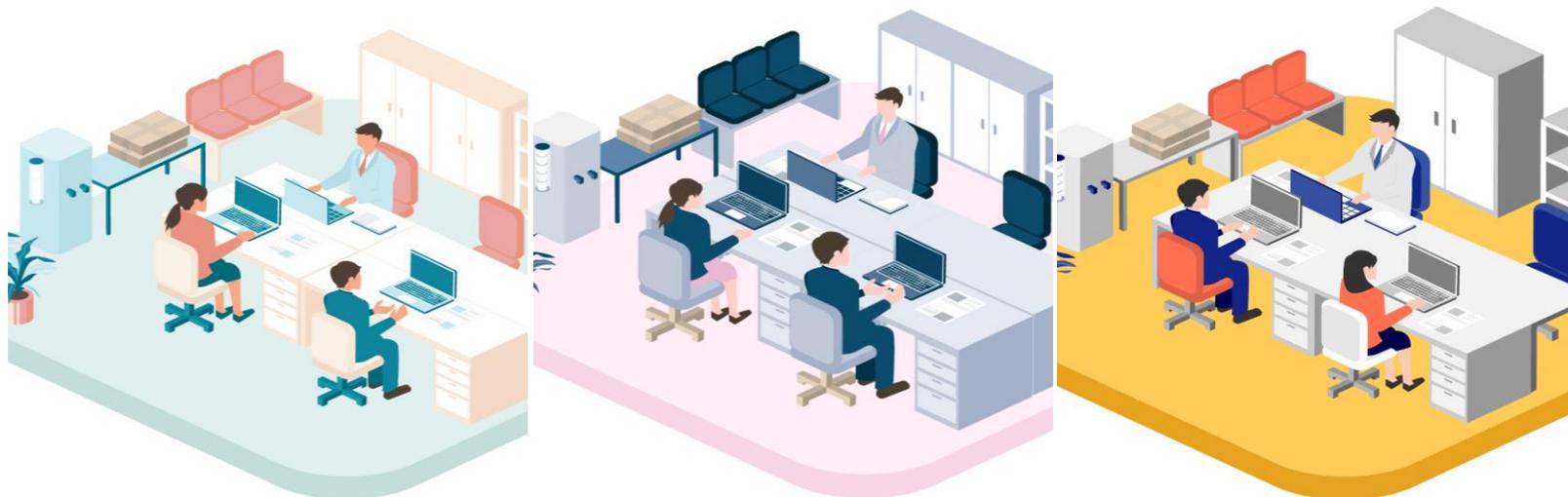
- 赤は「刺激的」、青は「安定」「安心感」、黒は「高級感」など、色によって人に与える印象を変えることが可能
- 来訪者の多い場所や業種では、高級感があり落ち着いた色が選ばれることが多くなっています

## ② オフィスで働く人の気分に影響する

床材はオフィスで働く人の気分にも大きく影響します。特に、執務室は社員が日常的に業務を行う場所であるため、集中力を阻害しない床材を選ぶことが重要です。

### たとえば…

- 青やグレーは「冷静」「落ち着き」といったイメージがあるため、執務室の床材によく選ばれます
- ただし、床材は業務内容によっても適した色が異なります
- 開発や企画など新しいアイデアの創出が求められる業務では、オレンジや黄色など明るい色も適しています



# オフィスにおける床材の4つの役割

## ③ 視覚的に空間を分けられる

床材の色や素材を変えることでパーテーションや間仕切りを設置しなくても視覚的に空間が分けられ、ゾーニング出来ます。それにより、見通しの良いオフィス空間にすることが可能です。

### たとえば…

- デスクワークを行うスペースは集中しやすいよう青やグレーに、ミーティングスペースは明るい赤や黄色にするなど、スペースによって色分けする方法も
- 人の動線に沿って通路だけ別の色にすることで、効率的な移動をしやすくすることもできます



## ④ メンテナンスのしやすさが変わる

使用する床材の種類によってメンテナンスのしやすさが変わるため、使用するスペースに適した素材を選ぶことが大切です。

### たとえば…

- 人が頻繁に行き交う通路には、耐久性の高いタイルカーペットやビニル系床材などが適しています
- エントランスや応接室など来訪者が多い場所には、高級感がある天然素材の床材がよく使われます
- リフレッシュスペースには、木の温かみを感じさせるフローリングが採用されることも多いです



# オフィスで使われる主な床材の種類

## タイルカーペット

- 一般的には裏面がPVC (ポリ塩化ビニル) で、接着剤を使って床に貼り付けて使用します
- 軽く、扱いやすいうえに静電機能や吸音性にもすぐれ、執務エリアはもちろん、サーバールーム・会議室などでも効果を発揮
- 形は40~50センチ四方のタイル型のため、市松模様やボーダーなど色組み合わせ次第で自由にデザイン可能
- 配線を床下に隠すOAフロアの場合、タイルカーペットであれば一部分を簡単に取りはずせるため、作業がしやすいことも大きなメリットです

## ビニル系床材

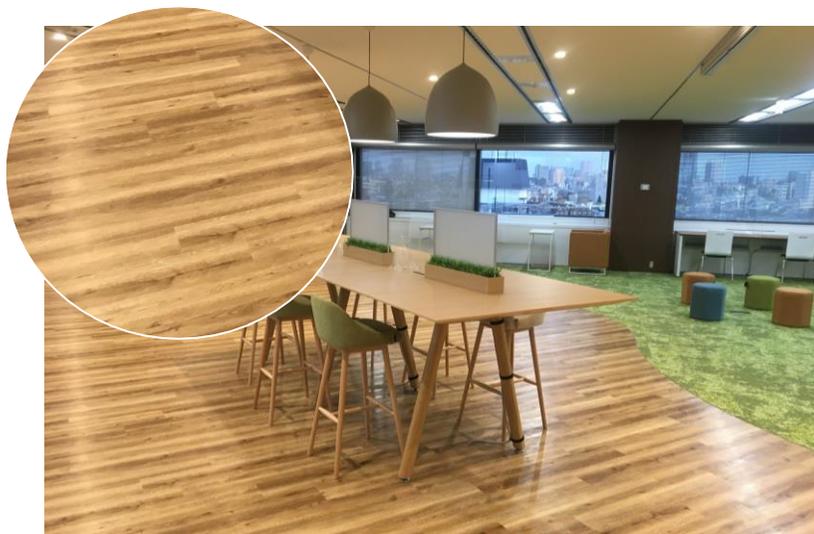
- ビニルタイプには、タイル型を組み合わせるものと、1枚のロール状になっているシート型の2種類があります
- タイルカーペットと異なり、木目調や石目調といったデザイン性の高いタイプもある点がメリットのひとつです
- 裏面がゴム製で滑りにくく耐水性にすぐれていることから、給湯室や洗面室といった水回りに向いています
- また、柔らかく歩きやすいことから、廊下やエントランスにも適しています



# オフィスで使われる主な床材の種類

## フローリング

- フローリングというと、家庭用のイメージが強い床材ですが、耐久性を高めた素材がオフィスでも活用されています
- タイルカーペットやビニルタイプのように簡単に張り直すことはできませんが、コピー機やファックスといったOA機器や、書類棚などを置いた際にへこみ跡がつきにくいというメリットがあります
- デザイン性をこだわりたい場合や、木目調のイメージからリフレッシュエリアなどにもおすすめです



## 天然素材

- エントランスや社長室など、高級感を出したい場所におすすめの床材は大理石や天然木です
- 一般的にほかの床材に比べ価格は高めですが、ほかの素材にはない趣（おもむき）があるといった特徴があります
- 高価なため、特に印象付けたいエリアの床材として採用することも選択肢の一つです



# <エリア別> 床材の選び方



## 執務スペース

執務スペースでは、集中力や判断力を高めるブルー系のカラーがおすすめです

- 青色は気持ちを落ち着かせる効果が期待できるため、**集中力を高めたい場所に適しています**
- また、**色の明度によっても印象が変わり**、同じブルー系でも明るい色のほうが爽やかなイメージになります
- たとえば、水色には「冷静」「爽やか」「清潔」などのイメージがあり、床材に使用すれば、心を落ち着かせたり、開放的な気持ちを促したりする効果が期待できるでしょう



# <エリア別> 床材の選び方



## エントランス

エントランスや応接室などは来客が多く、企業イメージの決定にもつながる重要な場所です

- エントランスや応接室では、シンプルなデザインが好まれます。色は清潔感のある白や重厚感のある黒などが選ばれやすい傾向にあります
- また、エントランスには**企業イメージを意識した色が選ばれる**こともあります
- 素材としては、高級感があり、汚れが目立たない大理石が選ばれることも多くあります



# <エリア別> 床材の選び方



## 会議室

会議室では活発な意見が出やすいように、オレンジ・黄色・グリーンなどのビビッドなカラーが選ばれる

- オレンジには「陽気」「活発」「暖かい」などのイメージがあり、**コミュニケーションを活発にする効果**が期待できるでしょう
- また、黄色は「希望」「元気」などのイメージがあるため、明るく楽しい印象を与えます。グリーンには「安らぎ」「癒し」といったイメージがあり、オレンジや黄色に比べて、やや落ち着いた印象になります



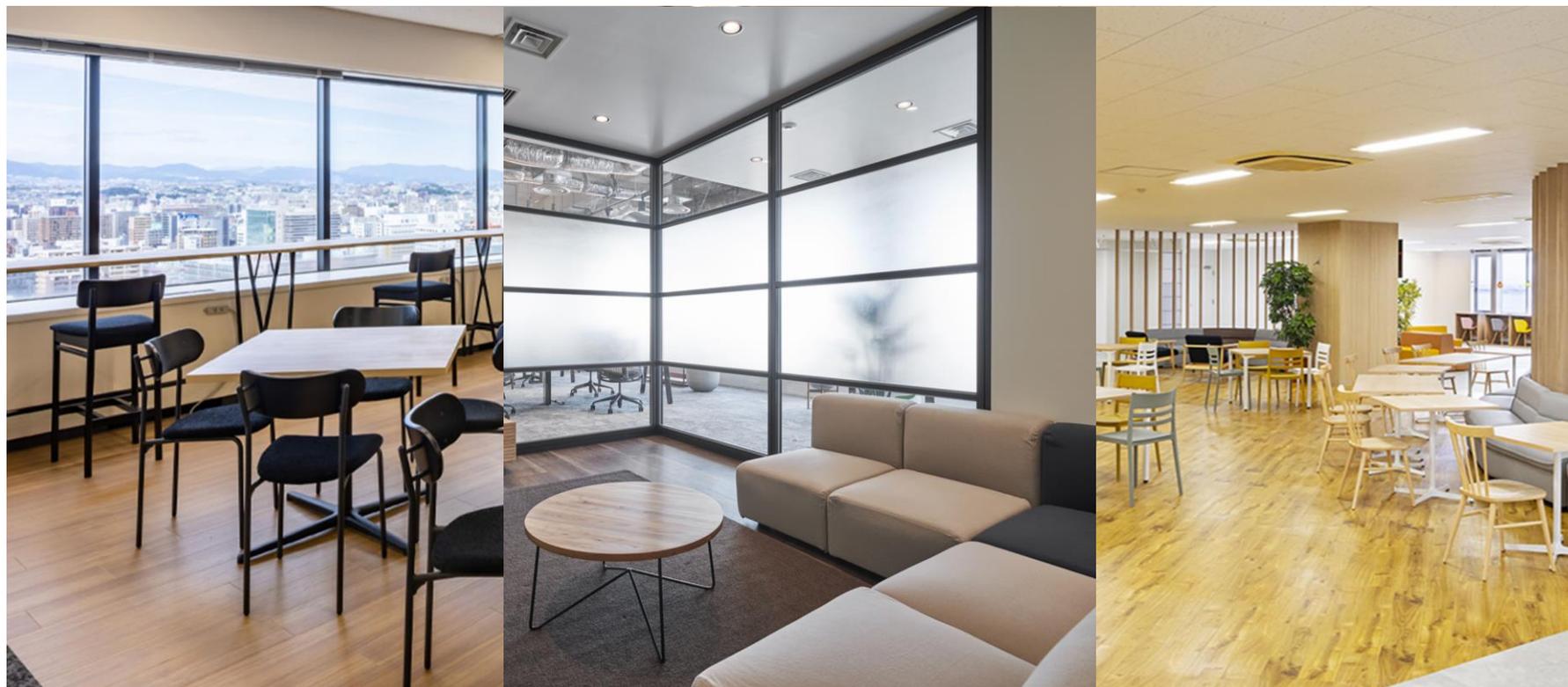
# <エリア別> 床材の選び方



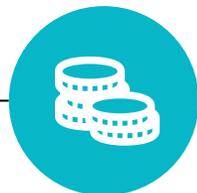
休憩室

休憩室では、リラックスしやすいグリーンやブラウンなどのカラーがおすすめです

- グリーンやブラウンなど自然によく見られる色は**アースカラー**と呼ばれています。**リフレッシュ効果が期待できるため、休憩室の床材の色には最適**です。前述のとおり、グリーンには「安らぎ」や「癒し」などの意味があり、リラックス効果が期待できます
- また、ブラウンは土の色なので、「大地」のような落ち着いたイメージを与えられるでしょう



# 床材選びの注意点



## 素材によって張り替え時期の目安・費用が異なる

張り替えの時期や費用は素材によって変わってきます。

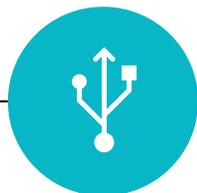
- 耐久性の高い素材であれば、頻繁な張り替えは必要ないでしょう
- 素材によっては初期費用が高くなる可能性があります。長く使う場合はコストがかかっても耐久性のある素材を選んだほうが、費用対効果が高くなります



## バリアフリーも視野に入れる

車いすの利用者や歩行に不安がある社員がいる場合、タイルカーペットのような柔らかく滑りにくい床材にする必要があります。

- ただし、あまり柔らかすぎると車いすが操作しづらくなる場合もあるため、当事者の意見も参考に選択する必要があります



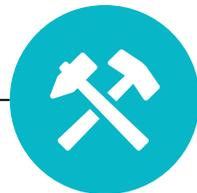
## 配線処理も考慮に入れる

- OAフロアにする場合、フローリングや天然素材では、あとから一部をはずして配線の入れ替えをすることになったことが困難です
- 統一感やブランディングも重要ですが、利便性についても考慮する必要があります



## メンテナンスのしやすさ

- たとえば、タイルカーペットはオフィスの床材によく使用されている素材ですが、ほこりが溜まりやすいため頻繁に掃除機をかけなければなりません。ただし、簡単にはがせるため、汚れた部分だけをすぐに交換できるメリットがあります。また、ビニルタイプは耐久性が高いうえ、お手入れも楽です
- 長く使用する場合は、メンテナンスに手間がかからず長持ちする素材を選ぶとよいでしょう



## 原状回復のしやすさ

賃貸オフィスの場合は、退去をする際に原状回復をしなければなりません

- 原状回復が難しい素材もあるため、退去時のことを考慮したうえで選ぶ必要があります
- はがしやすいタイプや床に置くだけのタイプなら原状回復が容易であるため、賃貸オフィスでも使用しやすいでしょう

オフィス家具や壁紙に比べて、あまり意識されないかもしれませんが、床の素材・色が変わるとオフィス全体のイメージは大きく変わります。

床の素材や色、デザインを選定するときのポイントは、社員の働きやすさを考慮するとともに、社内外に対して自社のどういったイメージを伝えたいのかを明確にすること。同じコストをかけるのであれば、単純に新しいものに変えるよりも、それによってひとつの企業イメージを打ち出せるようにしたほうが、効率が良いといえるでしょう。

もうひとつのポイントは、床材によって耐久性が異なるという点を知っておくことです。メンテナンスや張り替えの時期を把握しておかなければ、あとになって予想外のコストがかかる可能性があります。無駄なコストをかけないためにも素材の特徴を知り、移転やリニューアルの機会に効果的なイメージチェンジを実現していきましょう。

# PLUS Furniture Company

<https://kagu.plus.co.jp/>

働き方のヒントを探すオフィス見学